

# アルファアカデミー 2026

バドミントン、世界、そして人生についての対談

## Badminton, Globe, and Life

地球まるごと  
故郷（ふるさと）です

### ヴィヴィアンさん、馬場さん講演会

**Vivian Tam** 1967年医師の父母の長女として中国広東省広州市に生まれる。7歳で広州体校にてバドミントンを始める。11歳のとき一家で香港に移住し、香港バドミントンジュニアナショナルメンバーとなり、慶應義塾大学バドミントンとの交流も持った。1986年にはユーパー杯にも出場した。19歳のときスーツケース2つでニューヨークへ単身渡米。ベビーシッターをしながらニューヨーク大学でアジア研究・国際関係学を学んだ。その後伊勢丹本社入社し海外広報を担当、日本語をマスターした。25歳でアメリカ移民・滞在許可取得しサンフランシスコへ。三菱銀行で財務アナリストを担当し、2000年にボストンに移住。結婚、女兒出産。その後母子教育に関心を持ち、アシスタントティーチャーを務めながら教員免許と修士号を取得し公立学校教員になる。政府の支援で大学院を修了し学校マネジメントを学び校長資格を取得した。2013年シアトルに学校を開校し校長になる。2022年日本に戻り、那須に家を購入。合同会社VTカンパニーの共同代表として夫の仕事を手伝いながら企業経営幹部の相談相手、大学教授の研究発表、商談用の英語アドバイザー役も勤め、現在に至る。



**馬場 良浩** 1962年栃木県今市市（現日光市）で生まれる。中学生でバドミントンを始め、全国中学校2位になり、地元進学校である県立今市高校でさらにバドミントンを続け、インターハイ学校対抗優勝、個人シングルスでも準優勝した。その後現役で慶應義塾大学法学部政治学科に進学し、キャプテンとして活躍を続けた。卒業後住友銀行に入行し、法人営業を歴任し、31歳で独立し経営アシスタントの会社を立ち上げた。その後（株）テレコムスクエアの役員を兼務しながら、人事部門で人材開発と組織開発に携わり、とりわけ若手社会人の育成に力を注いできた。「忘れがたき『人』と『原体験』を振り返れば、その出会いや体験に自らが導かれていることがわかる」と述べている。近年は慶應義塾大学体育会バドミントン部のOB会役員として全国の高校生選手と大学との橋渡しを行っている。

## 7月11日（土）午後1時30分～

### 西武台千葉高等学校第2体育館1階多目的ホール1

参加費無料 申し込みは下記宛てにメールにて7月4日までお願いします。